

秋田大学大学院教育学研究科

心理教育実践専攻

令和5年度（第Ⅱ期）入学試験問題

心 理 学

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題冊子には、問題用紙が3ページ、解答用紙が4ページあります。
- 3 問題は4題あります。4題全てに解答しなさい。
- 4 問題冊子（問題用紙と解答用紙）の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 5 監督者の指示に従って受験番号を全ての受験番号記入欄に記入しなさい。
- 6 解答は解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 7 解答用紙は持ち帰ってはいけません。
- 8 試験終了後、解答用紙を除く問題冊子は持ち帰りなさい。

臨床心理学 問題 I

ケース・フォーミュレーションの 3 つの段階について説明しなさい。さらに、臨床心理面接を開始するうえでケース・フォーミュレーションが果たす役割について述べなさい。

臨床心理学 問題 II

統合失調症について以下の設問に答えなさい。

問 1

統合失調症の陽性症状と陰性症状について説明しなさい。

問 2

統合失調症者が抱える心理社会的な問題に関して具体例をあげて説明し、そうした問題に対して心理専門職が提供できる支援について述べなさい。

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 I」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題 I

以下に示す「視線手がかり効果」と研究課題を読み、問 1 と問 2 に答えなさい。

視線手がかり効果とは

実験参加者に対して右や左を見つめる顔のイラストを提示すると、直後に視線と一致した側に出現する標的の検出や同定が促進される。これを「視線手がかり効果 (gaze cueing effect)」という。

下の図は典型的な視線手がかり課題を示す。実験参加者は、顔のイラストを注視したまま、右側か左側に提示される標的文字 (F もしくは P) を同定し、例えば F の場合にのみボタンを押す。この課題では、視線手がかりの方向と標的文字の位置が一致する条件 (一致条件, 図左) の方が、そうではない条件 (不一致条件, 図右) よりも反応時間が短い。

心理学を専門とする A さんは、この現象について以下のような研究課題を考えた。

研究課題

自閉スペクトラム症 (Autism Spectrum Disorder; ASD) 者 (以下, ASD 者) は、社会場面における困難を抱えやすいことが知られている。そこで A さんは「ASD 者は非 ASD 者と比べると視線手がかり効果が小さいのではないか」という仮説を立て、実験によって検討することにした。

問 1

上記の研究課題を検討するための実験方法について、参加者、要因計画 (独立変数と従属変数)、手続きを含めて述べなさい。

問 2

問 1 の実験から得られたデータに対して、適切な統計分析手法の名称を書きなさい。また、どのような分析結果が得られたら A さんの仮説が支持されたと言えるか、「交互作用」という用語を使って説明しなさい。なお、得られたデータにおいて正規性の仮定、分散均一性の仮定、独立性の仮定は満たされているとする。説明には図や絵を利用してよい。

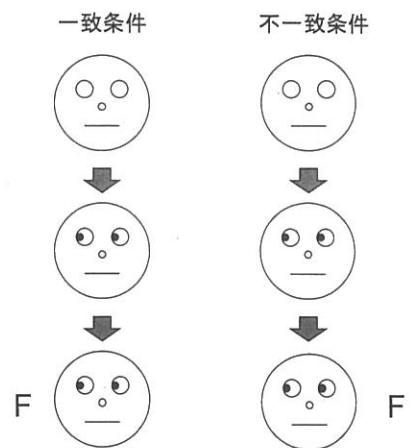


図 典型的な視線手がかり課題

(次ページの「心理学の基礎的領域 問題 II」へ続く)

心理学の基礎的領域 問題Ⅱ

下の図は、ケンドラーらによって行われた逆転学習の実験の模式図である。

彼らは弁別学習（原学習）が確立された後、それまでの正（強化）の刺激と負（無強化）の刺激の正負を逆転させたとき（移行学習）、その学習が容易になるかどうかを検討した。

この図では「+」が強化刺激、「-」が無強化刺激を示す。「大きい方が正しい」という弁別学習が成立した後に、「小さい方が正しい」という逆転的移行条件と「黒い方が正しい」という非逆転的移行条件の移行学習が行われた。

5歳以下の幼児と成人を協力者として実験を行った場合、各協力者において少ない試行で学習が成立すると予測されるのはどちらの条件か答えなさい。また、その理由を「S-R 結合」と「概念」の2つの用語を使って説明しなさい。

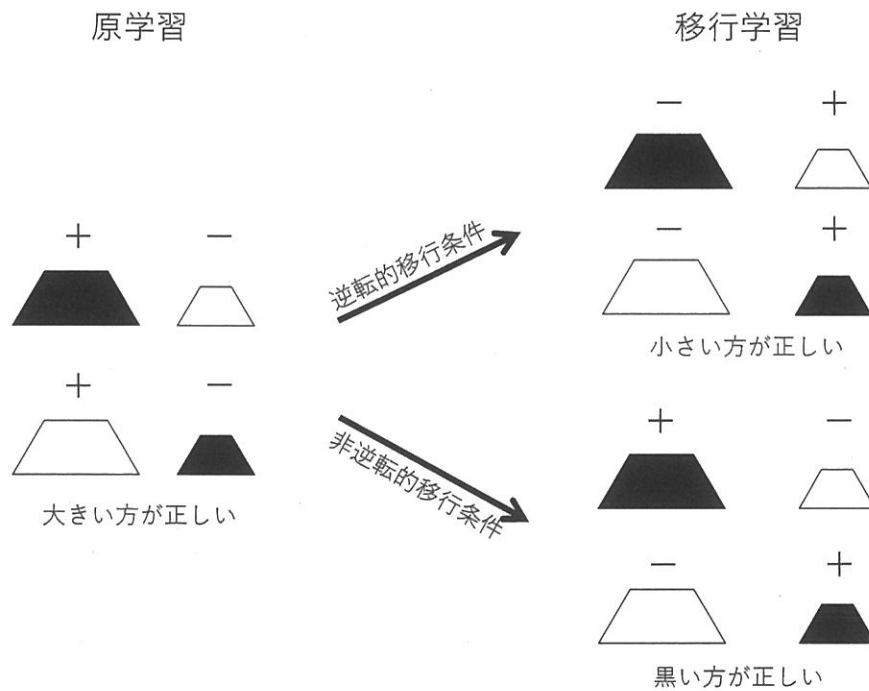


図 ケンドラーらによる実験の模式図